

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	南信州阿智村清内路煙火等資産化事業
事業主体 (連絡先)	南信州阿智村清内路煙火等資産化事業実行委員会
事業区分	(3)教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	4,223,462 円

事業内容

- 記録映像撮影 上清内路・下清内路の煙火、南信州の煙火
 撮影日 計17日 撮影時間59時間59分31秒
 上清内路(保安講習会、準備、本日、片付け)
 下清内路(躑躅取り、導火線づくり、薬研洗い、試打ち、本日)
 富士山稲荷神社、立石祇園祭、深見祇園祭、名古熊夏祭り、
 今宮郊戸八幡宮、長姫神社、飯島日方磐神社、関島煙火
 三国詰
- 映像編集
 上清内路の煙火 編集時間1時間20分
 下清内路の煙火 編集時間1時間20分
 南信州の煙火 編集時間 1時間20分
- 写真撮影 上清内路の煙火撮影 195カット
- 報告書聞き取り調査・年表調査、原稿作成
 調査員 7名
- 学習会の開催
 (1)第1回学習会
 撮影・調査の協力依頼、映像確認、清内路歌舞伎について、
 学識経験者の解説を交え地域住民と意見交換を行った。
 開催日 平成30年6月27日
 会場 阿智村清内路振興センター
 参加者 19名
 (2)第2回学習会
 編集内容の確認、調査内容の確認、年表について住民と
 学識経験者の意見交換会を実施
 開催日 平成30年12月7日
 会場 阿智村清内路振興センター
 参加者 13名



【下清内路煙火撮影状況】

【目標・ねらい】

- ①清内路の手作り煙火や南信州の煙火等を記録することで、後世へ継承する資料とする。
- ②煙火だけではなく、清内路の民俗文化を地域の皆さんと意見交換を進めながら清内路の地域文化を地域全体で考える機会とする。

※自己評価【B】

【理由】

映像を記録したことで清内路の民俗文化を後世へ継承する資料や学習資料とすることができたため。

事業効果

1 記録映像撮影

清内路の手作り煙火や南信州の煙火等を記録したことで、清内路の民俗文化を後世に継承する取り組みに寄与。

また、映像化したことにより広く情報発信することが可能となり、住民のみにとどまらず多くの方に閲覧いただく機会が増え、本祭りでの観客の増加に期待される。

2 学習会

阿智村、清内路地区、保存会と連携し学習会を開催したことで、改めて地元の伝統芸能の価値について見つめ直す機会とすることができた。

今後の取り組み

引き続き、清内路の手作り煙火や南信州の煙火等について調査し、後世に継承する資料や地域教育の資料としてまとめる。

平成31年度に開催予定の清内路誕生130周年・阿智村合併10周年式典に合わせ、記録映像を活用した学習会を実施し、民俗文化・芸能に対する地元の理解や意識の醸成を図る。

地元小中学校を対象とした地域教育の資料として作成した映像を活用し、地元の民俗文化・芸能の認識を高め、若手の継承へと繋げていく。